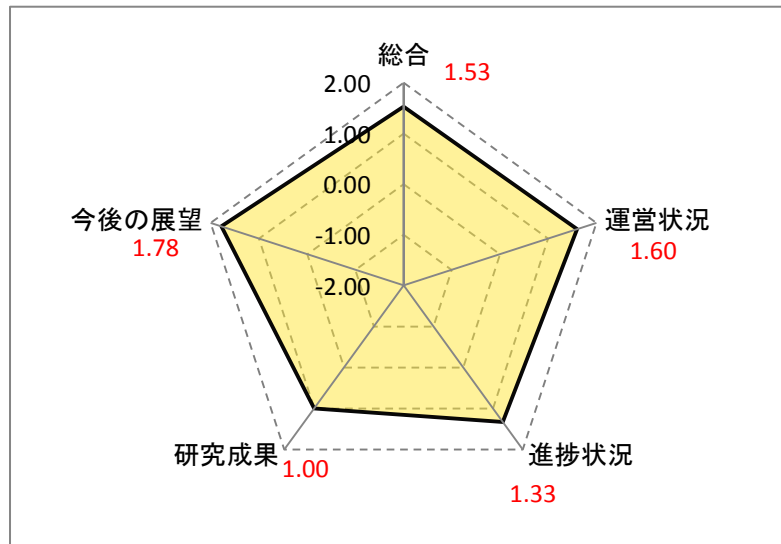


戦略的研究推進センター平成27年度研究プロジェクト評価

研究プロジェクト：萌芽研究部門 ICTを活用した次世代型地域福祉クラスタ

	総合	運営状況	進捗状況	研究成果	今後の展望	得点の平均
得点	1.53	1.60	1.33	1.00	1.78	1.45
評価	A	A	B+	B+	A	B+



(評価コメント)

【総合評価からのコメント】

- それなりの成果を得ていると判断するが、国内外の他の研究グループ等の研究と比して大きく優れているかどうかの判断はむづかしい。将来を大いに期待している。
- 共同研究による地域貢献や講演会等も積極的に行っている。
- 全体として、社会的必要性が高く地域課題にマッチしたテーマのため、成果の実用化を期待する。
- 地域のニーズに合致した研究課題であり、受託研究・共同研究も多数実施し、優れた成果をあげられたものと思われる。以上より、総合的に判断して総合評価をBとする。
- プロジェクトで作成されたコミュニケーションエイドと可視化アプリを特別支援学校・学級へ積極的に導入する新たな取り組みを期待する。
- およそ順調で連携も良好と思われる。
- 医療上の問題点を改善するために、企業の協力を得て研究が進行している。
- 10名の組織で、理工・法文・看護・病院・産学セの幅広い分野の連携体であり、個々の評価は難しいが、総合的成果としての地域貢献度は高いと判断される。論文掲載の計26件は、一人当たり2.6件と多く、アクティビティは高い、受賞も2件ある。特許出願は4件あり、高い新規性と有用性が認められる。地域福祉クラスタの拡大にも期待がかかる。
- 本プロジェクトは実学に近い領域で、使う人あってこそその研究と思われるが、学術論文にも多くの論文発表を行っている。

【各評価項目からのコメント】

- 学内外の連携が必要なテーマであるが、各分野の役割が明確で、機能的な組織運営のもとで効果的に研究がなされている。学生の育成に関する取り組みも評価に値する。
- 外部資金獲得件数は多い。
- 地域へのフィードバック、とくに地域福祉クラスタの形成は評価できる。
- 概ね計画通り研究が進められ、論文掲載などの成果を上げられています。学生の受賞や外部資金の獲得に繋がった点は評価できます。
- 概ね順調に研究が進捗し、達成できたと拝察します。
- 論文や研究発表は十分行われているが、外部資金の獲得において特に顕著な成果が見られる。
- 身近な研究であり、実用化に向けて地域産業の活性化に繋がることが期待される。
- 多数の論文等を公表していることは高く評価できるが、記載されている論文の情報からはプロジェクトとしての協働成果がよくわからない。メンバー間の協働をさらに推進し、個々の研究の集積ではなく共同での外部資金獲得や成果発表につなげて欲しい。